

風疹について

風疹とは？

風疹は微熱と発疹のするウィルス性の感染症です。

子どもがかかっても軽い症状で済むことが多く、大人がかかると症状が重くなることがあります。

先天性風疹症候群

妊娠初期に風疹にかかると胎児に風疹ウィルスが感染し、先天性心疾患、難聴、白内障などを持った

赤ちゃんが生まれることがあります。

そのため、妊娠初期に採血をして風疹抗体価を調べます。

風疹抗体価が 16 倍以下の方は抗体がありません。妊娠中に風疹に感染する可能性があります。

風疹を予防するには・・・

- 妊娠前もしくは妊娠初期に免疫を獲得しておくことが必要です
- 抗体価を調べ、必要に応じて予防接種をする必要があります
ただし、妊娠中は風疹の予防接種はできません
- もし検査で抗体が無いことがわかったら、人混みを出来るだけ避けましょう

では具体的にどうすればいいの・・・

- 担当医からご自身の風疹の抗体価を聞きましょう
- 次回の妊娠や二次感染を防ぐためにも出産後にワクチンを接種しましょう。
授乳中でも影響はありません。ただし、接種後 2 か月は妊娠を避けましょう
- 当院で予防接種を希望される方は、担当医または看護師にお知らせ下さい。
事前予約制となっていて、費用は 1 回 2000 円です
- 夫、パートナー、子どもから妊婦への感染を避けることも重要です。
抗体がない場合には夫、パートナー、子どもも予防接種を受けましょう

ワクチン 1 本で防ぐことの出来る感染症です。
正しい知識をもって赤ちゃんのご自身の健康のために行動しましょう

